

あおもり 国際交流つうしん

国際交流情報誌

9

2020
No.138

「青森県日本語指導サポーター養成講座」が開講しました



当協会常務理事による説明

新型コロナウイルス感染症の影響により、延期していましたが「青森県日本語指導サポーター養成講座」が2020年6月6日（土）、青森県観光物産館アスパムにて開講しました。

開講にあたり、青森大学の石塚ゆかり准教授から諸注意があり、続いて、当協会の角常務理事から「この講座を開設するに至った経緯や青森県の日本語教育の現状」、「多文化社会に向けた青森県国際交流協会の取り組みや多文化共生の観点から青森県内の外国人住民が暮らしやすい地域づくり」について説明がありました。

第1回講座 『多文化社会と日本語教育』

講師：青森大学准教授 石塚 ゆかり 青森県国際交流協会常務理事 角 俊行

この講座の前半では、グローバル化が進む中で、県内でも日本語を学ぶ人が増えていること、日本語を教えるにはどのような知識や技術が必要か、県内の日本語支援の現状、どんな学習者がいるのか、サポーターの役割などについて説明を受けました。

後半では、本講座受講生と青森大学「日本語教員養成プログラム」の受講生とが、6～7名ずつのグループに分かれて、グループ毎に青森大学在学中の外国人留学生から「日本語の勉強を始めた理由、青森に来たきっかけ、日本語学習の方法、生活の中で困っていること」などについてお話を聴き、感想や意見を発表しました。



グループワークのようす

また、様々な国から日本を訪れる学習者が実際間違ってしまった日本語の誤用を見て、本当はどんなことを書きたかったのか推測してみました。多くの誤用例がありましたが、その中で「キョはブッカです」は、よくある間違いで、正しくは「今日は二日です」でした。国によっては、日本語でよく使われる長音や促音（小さい「っ」の発音）などを区別しない場合もあり、発音することと文章で表すことが苦手な学習者もいることが分かりました。

受講生からは、「学習者からみた日本語の誤用は想像を超え、何を言いたいのか分からなかった」、「日本語の誤用から正しい日本語を教えるのは想像以上に難しい」、「外国人は母語からくる発音が私たちに正確に伝わらないことがある。私たちは広くイメージを持ち、正しく教えてあげる必要がある」、「学習者の立場になって考えるという言葉がとても心に響いた」などの感想もありました。

(次ページへ続く)



青森大学准教授 石塚ゆかり氏による講義



グループごとの話し合いの発表

第2回以降の講座は、以下のようなテーマで行われました。

テ ー マ			講 師
日本語研究 A	第2回講座	外国につながる子ども	弘前大学准教授 吉田 美穂
			青森県教育庁学校教育課指導主事 淋代 秀樹
			青森大学准教授 石塚 ゆかり
	第3回講座	外国人に対する日本語教育施策	岩手大学教授 松岡 洋子
第4回講座	看護・介護の現場の日本語	国際教養大学准教授 嶋 ちはる	
日本語研究 B	第5回講座	日本語を教えるために 必要な知識を身につけよう！ (使用テキスト：みんなの日本語初級Ⅰ)	仙台ランゲージスクール日本語科専任講師 猪狩 哲郎
	第6回講座		
	第7回講座		
	第8回講座		



8月から9月にかけては、「みんなの日本語」をもとに「日本語研究B」の講座を行いました。そして10月には、この講座の総仕上げとして「日本語指導実習」を行います。

「青森県日本語指導サポーター養成講座」は2019年度から開始し、2021年度まで事業の継続を予定しています。近年、青森県に暮らす外国人が増加しています。それに伴い「外国人に日本語を的確に教える人」がさらに求められるものと思われます。本事業に関心のある方のご参加をお待ちしております。

* 青森県日本語指導サポーター スキルアップ研修 *

8月8日、弘前大学多文化リソースルームの主催により「青森県日本語指導サポーター スキルアップ研修」が開催されました。「外国につながる子ども」（日本語指導が必要な外国籍と日本国籍を持つ子どものこと）に対する日本語指導の重要性が広く注目を集め始め、青森県でも2019年度から「青森県日本語指導サポーター養成講座」が開講され、日本語教育を担う人たちが増え始めています。

今回の研修は、特に子どもを対象とした日本語教室での指導や学校教育現場での支援などに向けて、実践的な指導のスキルを高めるよう企画したもので、講師には豊橋市教育委員会で外国人児童生徒教育相談員を務める築樋博子氏をお迎えし「子どもの学年や日本語レベルに応じた日本語指導法」をテーマにお話をいただきました。

なおこの研修は、新型コロナウイルス感染を防ぐため、受講者は青森大学をメイン会場にアスパムや弘前大学など複数の会場に分かれオンラインで行われました。このような形での研修も参加者にとっては新鮮なものようでした。

受講者からは、「外国につながる子どもたちに日本語をどう教えるかイメージがつかめた」、「日本語を教える側には子どもの母国の教育機関との連携が必要だ」、「日本語を教える上でどう子どものモチベーションを上げるか、ストレスの軽減を図るか工夫が求められると思う」など多くの意見感想が出ました。



オンラインでの研修の様子

特別賛助会費の募集

青森県国際交流協会では「青森県日本語指導サポーター養成講座」等の多文化共生に係る事業の円滑な運営のために『特別賛助会費』を募集しています。一〇万円（複数可）の会費ですが、2019年度から2021年度まで重点的に多文化共生の仕組みづくりができるよう、技能実習生雇用企業や監理団体をはじめ関係者の皆さんの積極的なご支援をお願いします。

青森県内「日本語教室」の開催状況

新型コロナウイルス感染症の感染予防を受けて、県内の「日本語教室」にも様々な影響が出ているようです。当協会では4月と7月に県内の日本語教室を対象にアンケート調査を行い、現在の日本語教室の活動状況と、新規学習者受け入れについて報告をいただきました。

2020年7月31日現在

	日本語教室名	活動状況	地域	新規受入れについて
1	日本語学習支援「青い森」	活動休止中	青森市	新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着くまでは受入れは難しい
2	国際文化交流クラブ	対面授業 (ソーシャルディスタンスを考慮し、少人数クラスのみ)	青森市	新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着くまでは受入れは難しい
3	弘前 日本語 ティールーム	オンライン学習、対面学習 (感染予防対策を取りながら)	弘前市	いつでもご相談ください
4	NPO たすけあい・さわやか青森	対面授業とオンライン授業の併用 (完全予約制により少人数(1~2)の授業を行っている)	おいらせ町	いつでも受け入れ可能だが、一度事務所を訪問してほしい
5	みちのく国際日本語教育センター	オンライン授業を継続中	八戸市	いつでもご相談ください
6	みさわ国際交流協会	オンライン授業	三沢市	オンライン授業の受講が可能な人であれば受入れ可能

※7月に行ったアンケートに基づいています

「オンラインYOSAKOI交流」始まりました

当協会では、青森県内の技能実習性などの外国人と、地域の方々と
の親交を図るため、「よさこい」を通して交流事業を行っています。
今年はコロナ禍で対面による交流が難しいため、オンラインで「よさ
こい」を踊るイベントを行うこととしました。このイベントは、イン
ターネット接続をしているスマートフォンやパソコン等で、だれで
も、どこでも参加できるようにしました。



よさこいは初めて、知っているけど、どう踊ればいいのか？ といった参加者のために、今年も弘前を中心に活動している「踊るふるさと応援隊」こと、よさこいチームの「AOMORI花嵐桜組」にご協力をいただき、「桜小町」にチャレンジします。

1回目の練習は、すでに8月30日(日)午後3時からweb会議システムZOOMを利用し行われ、約40名がつながりました。参加者は県内のみならずベトナム・ハノイのよさこいチーム「UlisYo」(ユーリス)のメンバーも参加しました。9月27日(日)には2回目の練習をし、10月31日(土)「ハロウィン」に本番を迎えます。交流の様子はライブ配信をする予定です。参加者一同の息の合った熱気あふれる、よさこい「桜小町」をご覧ください。詳しくは当協会ホームページまたは担当・三上まで。



ベトナム語のチラシ→

青森県内の在留外国人数

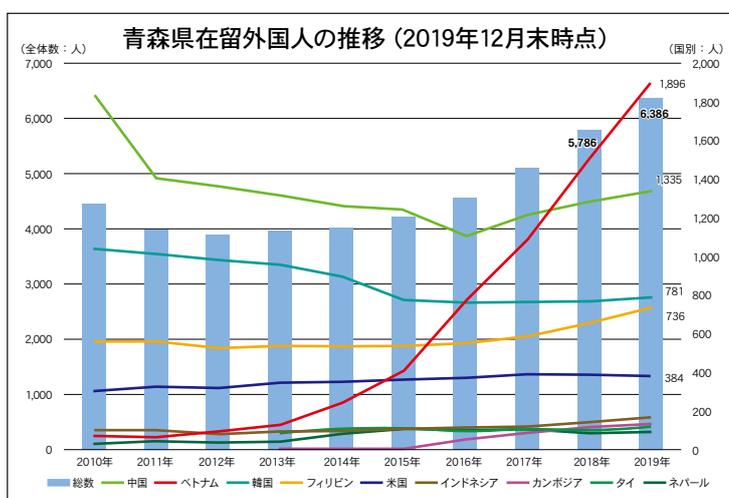
(2019年12月末時点)

2019年（令和元年）12月末時点の在留外国人数のデータが、7月31日に法務省から公表されました。今回は、国籍ごと・市町村ごとの在留資格別データが公表されたので、これらを中心に県内在住の外国人の状況を見てみたいと思います。

1 青森県在留外国人数

～県内の在留外国人数は6,386人。前年末に比べて600人（増加率10.3%）の増！～

令和元年（2019年）12月末時点での青森県内の在留外国人数は、6,386人と、前年比で600人の増（増加率10%）となりました。県内総人口に対する外国人の占める割合は約0.5%です。全国平均の2.3%と比較するとまだまだ少ない状況ですが、県内の在住外国人数は着実に増加しています。なお2020年3月以降は、新型コロナウイルスの影響により、予定していた技能実習生や留学生等の入国がストップしているため、次の公表データ（2020年6月時点）の減少率が気になるところです。



(参考) <全国上位の都府県の状況>

(単位：人、%)

	全 国	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
		東京都	愛知県	大阪府	神奈川県	埼玉県	千葉県	兵庫県	静岡県	福岡県	茨城県
外国人数	2,933,137	593,458	281,153	255,894	235,233	196,043	167,512	115,681	100,148	83,468	71,125
外国人の占める割合	2.3	4.3	3.7	2.9	2.6	2.7	2.7	2.1	2.8	1.6	2.5

2 国籍ごとの在留資格別外国人数

～ベトナム人が全体の約3割・「技能実習」が全体の4割～

青森県の在留外国人は、アジア地域の人数が5,676人と全体の88%を占めています。

国籍別では、ベトナムが最も多く1,896人（対前年比394人増）、次いで中国1,335人（同50人増）、韓国781人（同12人増）、フィリピン736人（同80人増）などの順になっています。今回増加率が高かった国は、フィリピン（前年比30.3%増）、タイ（同34.7%）となっています。在留資格別でみると、「技能実習」が2,552人（構成比40%）と最も多く、次に永住者・特別永住者1,776人（27.8%）、留学438人（6.9%）、「技術・人文知識・国際業務」（5.3%）の順となっています。

新たな在留資格「特定技能」は、4人となっています。

国籍ごとの在留資格別でみると、「技能実習」の割合が高い国は、ベトナム、インドネシア、カンボジアなど、「永住者・特別永住者」の割合が高い国は、韓国、フィリピンなどとなっています。「留学」の場合は、人数では中国、ベトナムが多いですが、タイ、マレーシアの割合が特に高いことがわかります。「技術・人文知識・国際業務」では、ベトナム、フィリピンが多くなっています。

青森県在留外国人 主な国籍別在留資格（2019年12月末時点）

（単位：人）

	総数	内 訳								
		技能実習	永住者 (一般・特別)	留学	技術・人文知識・国際業務	日本人の配偶者等	家族滞在	教育	特定活動	その他
青森県全体	6,386	2,552	1,776	438	337	335	219	164	189	376
ベトナム	1,896	1,651	10	88	84	14	9	—	21	19
中国	1,335	486	317	165	43	57	55	—	131	81
韓国	781	0	633	36	31	37	13	—	3	28
フィリピン	736	140	361	4	63	66	16	6	16	64
米国	384	0	105	4	27	70	20	128	—	30
インドネシア	171	89	46	5	3	14	9	—	1	4
カンボジア	136	135	—	—	—	—	—	—	—	1
タイ	121	9	39	40	2	23	—	—	—	8
ネパール	97	—	12	2	12	—	42	—	2	27
台湾	92	—	32	19	25	6	—	—	7	3
朝鮮	74	—	72	—	—	1	—	—	—	1
パキスタン	65	—	12	1	4	1	16	—	—	31
マレーシア	50	—	6	33	8	1	—	—	1	1
ミャンマー	38	30	1	2	4	—	—	—	—	1
モンゴル	26	11	3	5	3	1	3	—	—	0
インド	20	—	2	1	3	—	1	—	—	13
アフガニスタン	18	—	—	—	7	—	10	—	—	1
アジア地域	5,676	2,552	1,553	408	292	223	174	6	183	285
ヨーロッパ地域	147	—	54	12	12	20	14	8	4	23
アフリカ地域	17	—	4	6	—	5	1	—	—	1
北米地域(米国を除く)	54	—	15	2	3	5	6	15	—	8
南米地域	65	—	33	1	—	7	—	—	—	24
オセアニア地域	43	—	12	5	3	5	4	7	2	5

注) 総数の少ない国は非掲載のため、各国の数値の集計値はアジア地域等の数値とは一致しない。

3 市町村ごとの在留資格別外国人数

市町村別では、八戸市が1,304人（対前年比67人増）と最も多く、続いて、青森市（1,114人、同78人増）、弘前市（881人、同6人増）、三沢市（663人、同52人増）などとなっています。

在留資格別でみると、4市ともに「技能実習」が最も多いほか、弘前市では「留学」での在留外国人数も技能実習と同等となっています。また、「技術・人文知識・国際業務」の在留外国人は三沢市が最も多くなっています。

市町村別・在留資格別（上位10市町村）

（単位：人）

順位		総数	内 訳									
			特別永住者	永住者	留学	技能実習	技術・人文知識・国際業務	日本人の配偶者等	家族滞在	教育	特定活動	その他
	青森県	6,386	581	1,195	438	2,552	337	335	219	164	189	376
1	八戸市	1,304	133	240	22	506	43	61	45	24	143	87
2	青森市	1,114	214	188	196	300	53	55	25	25	11	47
3	弘前市	881	74	165	210	217	46	32	48	22	12	55
4	三沢市	663	28	109	—	298	89	38	43	5	4	49
5	十和田市	331	40	75	1	124	20	21	14	9	1	26
6	おいらせ町	271	5	64	—	143	9	17	13	3	—	17
7	むつ市	162	17	39	—	66	4	17	2	7	1	9
8	六ヶ所村	144	—	15	—	72	13	2	13	4	—	25
9	黒石市	143	4	23	—	76	8	7	5	5	—	15
10	野辺地町	139	7	4	—	109	3	3	2	4	3	4

4 東北各県との比較

東北の各県の状況を表で比較してみましょう。

他県では在留外国人がある程度、都市部に集中して分布している状況に対して、青森県は複数の市に分散して分布していることが分かります。

東北各県における在留外国人数の上位市町村

県名	順位	市町村	総数(人)	県全体の割合(%)	県名	順位	市町村	総数(人)	県全体の割合(%)
青森県	1	八戸市	1,304	20.4	秋田県	1	秋田市	1,460	33.5
	2	青森市	1,114	17.4		2	横手市	418	9.6
	3	弘前市	881	13.8		3	大館市	408	9.4
	4	三沢市	663	10.4		4	由利本荘市	313	7.2
	5	十和田市	331	5.2		5	大仙市	267	6.1
	全体数		6,386			全体数		4,353	
岩手県	1	盛岡市	1,708	20.9	山形県	1	山形市	1,463	18.2
	2	一関市	909	11.1		2	鶴岡市	815	10.1
	3	北上市	778	9.5		3	米沢市	756	9.4
	4	奥州市	639	7.8		4	天童市	548	6.8
	5	花巻市	492	8.0		5	酒田市	542	6.7
	全体数		8,170			全体数		8,058	
宮城県	1	仙台市	14,619	60.9	福島県	1	郡山市	3,040	19.5
	2	石巻市	1,298	5.4		2	いわき市	2,881	18.5
	3	大崎市	854	3.6		3	福島市	2,037	13.1
	4	気仙沼市	646	2.7		4	会津若松市	960	6.2
	5	塩釜市	586	2.4		5	白河市	714	4.6
	全体数		23,986			全体数		15,559	

■「青森県外国人相談窓口」の相談状況

2019年11月から、県からの委託を受け、「青森県外国人相談窓口」を開設しています。

ここでは、外国の方が日本で生活するにあたって必要な情報を提供したり、関係機関と連携して困りごとが解決できるようにお手伝いをしています。

昨年度の相談件数は、27件でした。相談内容は「雇用・労働」や「日本語学習」などのほか、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けての職探しや在留資格についての相談などもありました。

昨年11月の開設以来、県内の様々な関係機関への周知を行い、少しずつ当相談窓口の存在が浸透してきた感触を持ちつつも、相談件数も少なく、まだまだその認知度は不足している感は否めません。

今後は、さらにPRに努めつつ、青森県で暮らす外国人の方々にとって安心できるよりよい生活環境を提供できるよう、努めていきたいと考えています。

9月からは、新たなサービス「三者通話による通訳サービス」を始めました。詳細は、当協会のホームページをご覧ください。
* 青森県国際交流協会ホームページ <http://www.kokusai-koryu.jp>

青森県外国人相談窓口「ワンストップ相談会」を開催します。

青森県在住の外国人を対象に、在留資格、職場の問題、法律問題などの専門家が相談に応じます。相談にあたっては当協会の通訳相談員が同席し、スムーズな相談に努めます。

秘密厳守

日時：2020年11月7日（土）12：00～15：00

場所：アスパム5階 会議室「白鳥」「夏泊」

専門相談機関：青森県弁護士会、仙台出入国在留管理局青森出張所、青森労働局監督課 等

* ご相談は、事前予約をお願いします。

* 今後の予定（変更する場合があります） 2021年2月13日（土）12：00～15：00

* <わしくは青森県国際交流協会のホームページをご覧ください。





青森県国際交流協会 金 美淑

今年で青森の移住8年目を迎えました。青森に来た年は2013年。小学校5年生と6年生だった息子と娘が、今は高校3年生と大学1年生になっています。8年間、子供の傘になってくれた友だちや横断歩道になって下さった先生方々へ、この紙面をお借りして深く感謝を申し上げます。8年といえば、赤ちゃんが小学生になるほどの長い年月です。子供にとってどんな8年であったのかわかりませんが、いつか「一つの屋根の下、二つの国でがんばっていたね!」と笑いながら言ってくればありがたいものです。

移住の実感がして来たのは、韓国の荷物を日本に送る時でした（移住3か月前に船便で箱55個を主人の実家に送った）。環境が急が変わるのは子供によくないと思って、できるだけ子供が使っていたものを箱詰めにし、それを日本の子供部屋に再現しました。ありがたかったのは韓国で孫と一緒に暮らしていた私の母が最初の3週間を子供と一緒にいてくれたことです。母に給食のランチマットを作ってもらったり、ユンノリ*1を楽しんでもらったりして、子供にも青森での楽しい思い出になっています。

母が韓国に帰る前のある日のことです。母がカクトウギ*2を作りたいと言ったので、息子に大根を2本買って来るように、おつかいをさせました（その時は買い物の際に子供が一人で行ってはいけないということを知らなかった。韓国では子供一人でも普通に買い物をするので）。帰ってきた息子が「ママ、あるおじいさんに食堂の子か?と聞かれたよ!」と言うのでみんな大笑いしました。一般の家庭で大きい大根を2本も!しかも子供が買うことはまずないでしょう。その日、母に作ってもらったカクトウギの味が今もなつかしく思われます。そして、いよいよ学校が始まりました。

子供は、青森に来る前に日本語の読み方と書き方は勉強して来ました。しかし、いざ授業となって来ると母語が確立していないなか、学習言語という日本語を学ばなければなりません。二重のハードルが待っていたのです。学校でも、校長先生を始め担任の先生や友達にいろいろ工夫してもらったり、協力してもらったりして何とか授業について行くことができました。

私が最も驚いたのは、二人の教材費に最初かかったお金がなんと6万4千円（裁縫セット、書道セット、ジャージ、鍵盤ハーモニカなど）!給食費を入れたら7万7千円を超えていました。しかも娘は6年生だったので、そういった教材を1年だけ使って終わってしまいました。子供たちは韓流ブーム以降に来たわけですから、学校ではまるで韓流スターが来たかのように迎えられました。

家にもしょっちゅう友達遊びに来て、ある時は13人も来た日!私はその時どう対応していたのか覚えていません。息子は部活でサッカー部に入りました。しかもポジションがなんとゴールキーパー!大失敗でした。韓国の部活は趣味活動です。すなわち遊びの時間です。息子は韓国にいた時、放課後は友達とよくサッカーをしたものですから、その程度だと思ったのでしょう。捨て身でボールを守るゴールキーパーの姿にあこがれていたのでしょうか。

しかし、現実はそうでなかったのです。部活を始めてから1ヶ月も経っていない日に、担任の先生から電話がありました。先生によると、息子が部活を1時間だけやって家に帰るそうです。家で何かあるのかと聞かれました。後で息子に聞いてみたら、ある友達が家に用事があったのを見て、自分も自由に帰ってもいいのだと思っただけです。その後は部活を2時間経ててから帰るようになりました。くたくたになって!

韓国で小学校を5年間通った娘は、日本の小学校をたった1年間通っただけですが、日本の小学校の卒業証書ももらいました。（つづく）



2013年5月、運動会にて

*1 ユンノリ: 「すごろく」のような韓国の伝統的な遊び。ユツ(웃)またはユツカラク(웃가락)と呼ばれる4本の木の棒を両チームが交互に投げあう。棒の表裏の向きの数に応じて、ユツパン(웃판)といわれる盤の上で駒(말)を進めていくゲーム。

*2 カクトウギ: 大根を1.5~3cmに角切りして塩漬にした後、水で洗って水気を切った大根に粉トウガラシ、ニンニク、ショウガ、アミの塩辛などの薬味を入れて混ぜ合わせて漬けたキムチ。日本では「カクテキ」と表記されることが多い。



金 美淑 (青森市在住)

韓国出身。漢陽大学卒業後、1990年より日本語教師を務める。

2013年3月、再婚を機に来日。

日本語教師の経験を活かした活動で日本、青森の力になりたいと日々勉強中。

現在、青森県国際交流協会勤務。

青森県内の国際交流事業・イベント紹介

●NPO法人みちのく国際日本語教育センター **八戸日本語教室** 《授業はオンラインです》

	火曜日コース	水曜日コース
開催期間	2020年8月25日～2021年3月9日	2020年9月2日～2021年3月10日
実施回数	22回	22回
時 間	午後6時30分から	午後6時30分から
レベル別クラス	5クラス	4クラス
受講料	10,000円	10,000円

■対 象：日本語で話したい外国人の方なら、どなたでも、どこに住んでいても参加できます。

■授業はオンラインですので、“Zoom Cloud Meeting”をダウンロードしてください。

■PC、タブレット、スマートフォンで参加できます。(Wi-Fi環境推奨)

■お申込み・お問合せ先：NPO法人みちのく国際日本語教育センター

事務局 TEL：080-6051-3109 / 080-6026-3109

E-mail：michinokunihongo@gmail.com

■新しく参加する場合は、必ず事前にご連絡ください。



●みさわ国際交流協会 オンライン語学講座

■英会話講座（オスカー＆マリア講師）

	月曜日 夜クラス	水曜日 朝クラス
開催期日 (6回)	9/14, 9/28, 10/5, 10/12, 10/19, 10/26	9/9, 9/16, 9/23, 9/30, 10/7, 10/14
時 間	18:45～19:45	9:20～10:20
参加費	3,000円	3,000円

■お問い合わせ先／Inquiries and Contact

みさわ国際交流協会／Misawa International Association

電話番号／Phone Number：080-6022-1349

メール／E-mail：misawa.mia@outlook.jp

■Everyday Japanese Online Classes

	Everyday Japanese I (Beginner)	Everyday Japanese II (Beginner～Elementary)
Dates	8/24, 8/31, 9/14, 9/21, 9/28, 10/5, 10/12 (7 classes)	8/26, 9/2, 9/9, 9/16, 9/23 (5 classes)
Time	17:30～18:30	9:20～10:20
Fee	¥4,200	¥3,000
Textbook	¥800	¥800

■Class Information

Classes will be held on Zoom. Please download the Zoom app on your computer, smart phone, or tablet.

国際交流ラウンジの図書紹介



「日本語誤用辞典」 市川保子 編著

「辞典」とはいうものの、何かを調べる辞典とは一味違います。日本語とはどんな言葉なのかを教えてください本だと思えます。例えば、「たいていの人」と「ほとんどの人」の違いとは？ どちらの人数が多い？ 日本語が母国語でも判断に迷います。外国人が日本語を習得していく中でどんな点がわかりにくいのか、あるいは間違いやすいのか、多くの事例とともにその原因も紹介しています。日本語という言葉語を改めて学び考える1冊としてご一読をおすすめします。

国際交流ラウンジにはJapan Times、The New York Timesや、世界各国語の学習書、話題のノンフィクション、など様々な分野の図書をそろえております。皆様のご利用をお待ちしております。

図書・雑誌などの貸出期間：借りた日から2週間（4週間まで延長可）。なお、最新号の雑誌は貸出しておりません。

公益財団法人青森県国際交流協会 Aomori International Association

国際交流ラウンジ／International Lounge

〒030-0803 青森市安方1丁目1-40
青森県観光物産館アスパム2F
ASPAM BLDG. 2F, 1-1-40, Yasukata, Aomori-shi.
Post-Code: 030-0803
TEL: 017-718-5147 FAX: 017-718-5148
E-mail: lounge_supporter@kokusai-koryu.jp

事務局／Office

〒030-0803 青森市安方1丁目1-40
青森県観光物産館アスパム7F
ASPAM BLDG. 7F, 1-1-40, Yasukata, Aomori-shi.
Post-Code: 030-0803
TEL: 017-735-2221 FAX: 017-735-2252
E-mail: info@kokusai-koryu.jp



*国際交流ラウンジカウンター／青森県外国人相談窓口

受付時間／10:00～17:00
休日／毎週月曜日 年末・年始休日／12月31日～1月4日
アスパム休館日 2021年2月23～24日

Website: <http://www.kokusai-koryu.jp>

<https://www.facebook.com/aomori.kokusai.koryu>

<https://twitter.com/aomorikokusai>